令和6年度 年間授業計画

教科名	国語	科目名	言語文化	単位数	2
対象学年・組	第1学年 1・2・3・4組				
使用教科書	「新編 言語文化」東京書籍				
使用教材	「漢字ボックス」浜島書店・「新総合 図説国語」東京書籍				

教科の目標

【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことが出来るようになる。
【思考力、判断力、表現力等】	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
【主体的に学習に取り組む態度】	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に着けるとともに、和泉国の言語文化に対する理解を深めることができるようになる。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として自覚をもち、言葉を通して他者や社会にかかわろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		語	書	読						
1 学 期	A 単元 「雨漏りの音」 【知識及び技能】 読書活動の意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像しながら読む。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の心の動きを読み取り、人間関係の在り方について考えようとしている。	・登場人物の心の動きを読み取り、人間関係の在り方について考える。 ・教科書、ノート、プリント等	○	○	○	【知識及び技能】 文章の意味は文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文の内容や構成、展開を的確に捉え、学習課題に沿って、登場人物の心の動きを読み取り、人間関係の在り方について考えようとしている。	○	○	○	4
	B 単元 「さくらさくらさくら」 【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、想像を支える働きがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 和歌や四季に興味をもち、調べたり考えたりする。 【学びに向かう力、人間性等】 日本独特の仮名遣いに対する感性について理解を深め、本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の仮名遣いについて整理しようとしている。	・引用歌や体験談に注意しながら日本独特の仮名遣いに対する感性について理解を深める。 ・教科書、ノート、プリント等	○	○	○	【知識及び技能】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで日本独特の仮名遣いに対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の仮名遣いについて整理しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1
	C 単元 「デューク」 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 変化する登場人物の気持ちを文脈から読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 主人公の心情の変化を読み取り、表現に注意して話の展開を捉えようとしている。	・主人公の心情の変化を読み取り、細かい表現に注意して話の展開を捉える。 ・教科書、ノート、プリント等	○	○	○	【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の構成や展開、表現の特色などを理解し、学習課題に沿って、主人公の心情の変化を読み取り、表現に注意して話の展開を捉えようとしている。	○	○	○	10
	D 単元 「児のそら寝」 【知識及び技能】 繰り返し音読し、古典特有の表現などについて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 児と僧たちの行動、心情の移り変わりを読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取ろうとしている。	・歴史的仮名遣いについて理解し、説話の面白さを読み取る。 ・教科書、ノート、プリント等	○	○	○	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典をよむために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話の面白さを読み取ろうとしている。	○	○	○	6
定期考査		○	○	○		○	○	○	1	
2 学 期	E 単元 「羅生門」 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 小説の構成を捉え、登場人物の心情の変化を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文の構成や場面の展開、表現の特色を捉え、学習課題に沿って、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考えようとしている。	・極限状態にある登場人物の心情の変化を場面の展開に即して読み取り主題を考える。 ・教科書、ノート、プリント等	○	○	○	【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。	○	○	○	6
	E 単元 「羅生門」 【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 元になった古典作品との比較を踏まえて、内容の解釈を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文の構成や場面の展開、表現の特色を捉え、他者や社会に意欲的にかかわろうとしている。	・極限状態にある登場人物の心情の変化を場面の展開に即して読み取り主題を考える。 ・古典を題材にした近代文学をとおして、その営みについて考える。 ・教科書、ノート、プリント等	○	○	○	【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。	○	○	○	8
	定期考査		○	○	○		○	○	○	1
	G 単元 「訓読のきまり／格言／再読文」 「守株」 【知識及び技能】 漢文の訓読のきまりについて理解する。話で語られている教訓の意義を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 漢語・漢文と我が国の言語文化の関係について理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文に興味を持ち、学習に意欲的に取り組もうとしている。	・漢文訓読の方法を理解し、漢文に親しませる。 ・故事成語を取り上げ、その元になった中国の古典に触れさせる。 ・教科書、ノート、プリント等	○	○	○	【知識及び技能】 古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文に興味をもち、訓読に意欲的に取り組もうとしている。	○	○	○	8
	H 単元 「絵師良秀」 【知識及び技能】 語の意味を理解し、登場人物の人物像を考える。 【思考力、判断力、表現力等】 古典から生まれた近現代の作品を読み、内容の理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 文語の活用について理解し、進んで叙述を基に登場人物の人物像を読み取ろうとしている。	・文語の活用について理解し、叙述を基に人物像を読み取る。 ・教科書、ノート、プリント等	○	○	○	【知識及び技能】 言葉には文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 時間の経過や地域・文化的特徴などによる文字や言語の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで最後の活用について理解し、学習課題に沿って、叙述を基に人物像を読み取ろうとしている。	○	○	○	8
定期考査		○	○	○		○	○	○	1	
3 学 期	I 単元 「夢十夜」「美しい」ということ 【知識及び技能】 文章の意味は文脈の中で形成されることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 叙述をもとに、場面の様子や人物の心情を想像し、内容の解釈を深める。 ・物語と「美しい」の関係について筆者がどのようにとらえているか考える。 【学びに向かう力、人間性等】 小説の中に展開する独自の世界を味わおうとしている。 ・小説の構成や展開について理解し、「美しい」ということについて考える。	・表現に即して小説を丁寧に読み、味わい、そこに展開する独自の世界を味わう。 ・筆者の経験と分析について理解し、「美しい」ということについて考える。 ・教科書、ノート、プリント等	○	○	○	【知識及び技能】 文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、作品や文章に表れているもの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のもの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで文章の構成や展開、表現の特色などを捉え、学習課題に沿って、小説	○	○	○	7
	学年末考査		○	○	○		○	○	○	1

令和6年度 年間授業計画

教科名	公民	科目名	公共	単位数	2
対象学年・組	1 学年 1・2・3・4 組				
使用教科書	第一学習社 高等学校 公共				
使用教材	なし				

教科の目標

【知識及び技能】	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵蓋される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の抱い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 中 間	A 公共的な空間をつくる私たち 【知識及び技能】自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間をつくる存在であることを理解し、表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】公共的な空間をつくる私たちについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などの様々な集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間をつくる存在であることを学ぶ。	【知識及び技能】自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 【思考力・判断力・表現力】公共的な空間と人間との関わり、個人の尊厳と自主・自律、人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】公共的な空間をつくる私たちにについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	5
	B 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 【知識及び技能】選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】倫理的義務の判断において、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを用い、自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、思考実験など概念的な知識を用いて考察する力を養う。人間としての在り方生き方各多面的・多角的に考察し、表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】公共的な空間における人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。	【知識及び技能】選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】幸福、正義、公正などに着目して考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】公共的な空間における人間としてのあり方生き方について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
1 学期 期 末	C 法的な主体となる私たち（主に法と消費者の権利・責任） 【知識及び技能】法や規範の意義及び役割、多様な契約と消費者の権利・責任、司法制度の意義などに関する現実社会の事例や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて個人の権利を保護し、公共に貢献し、個人が協働し、解決することを通して、権利や自由を保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていることについて理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・法や規範を学び、その意識を高めるとともに、契約が対等な当事者間の合意といえるための条件を理解する。	【知識及び技能】契約と消費者の権利・責任に関する現実社会の事例や課題を理解している。 【思考力・判断力・表現力】家庭科など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】契約と消費者の権利・責任について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	D 政治的な主体となる私たち（特に政治参加と公正な世論形成） 【知識及び技能】政治参加と公正な世論形成、地方自治、国家主権、国士（綱領、御誓を重んじ、我が国の安全確保と防衛、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関する現実社会の事例や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて個人の権利を保護し、公共に貢献し、個人が協働し、解決することを通して、権利や自由を保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていることについて理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・民主政治を推進するために、私たちが果たすべき責任を理解する。	【知識及び技能】現実社会の諸課題に関する諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】政治参加と公正な世論形成について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
2 学期 中 間	E 経済的な主体となる私たち（主に雇用と労働問題） 【知識及び技能】職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢化における社会保険の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における資源や格差の問題を含む。）などに関する現実社会の事例や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を営むことを通して資源の効率的な配分を図ること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割や役割が担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊厳を共に実現させることが必要であることについて理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】雇用と労働問題について、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・少子高齢化による労働力不足が問題となるなか、活発な経済活動と労働者の働きやすさを共に成り立たせるために必要なことを理解する。	【知識及び技能】雇用と労働問題に関する現実社会の事例や課題を理解している。 【思考力・判断力・表現力】法分野の基本的な人権とも関連させ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】雇用と労働問題について、現代の諸課題を主体的に解決し、自分の将来のあり方について考えようとしている。	○	○	○	5
	F 経済的な主体となる私たち（主に金融のはたらき） 【知識及び技能】職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢化における社会保険の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における資源や格差の問題を含む。）などに関する現実社会の事例や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を営むことを通して資源の効率的な配分を図ること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割や役割が担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊厳を共に実現させることが必要であることについて理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】金融のはたらきについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・経済において、金融市場はどのような役割を果たしているのか理解する。	【知識及び技能】金融のはたらきに関する現実社会の事例や課題を理解している。 【思考力・判断力・表現力】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】金融のはたらきについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
2 学期 期 末	G 経済的な主体となる私たち（主に財政の役割と社会保障） 【知識及び技能】職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢化における社会保険の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における資源や格差の問題を含む。）などに関する現実社会の事例や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を営むことを通して資源の効率的な配分を図ること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割や役割が担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊厳を共に実現させることが必要であることについて理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・少子高齢化が進むなかで、財政や社会保障を持続可能なものにするために、政府はどのような役割を果たしていくべきなのかを理解する。	【知識及び技能】現実社会の諸課題に関する諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 【思考力・判断力・表現力】自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	H 経済的な主体となる私たち（主に経済のグローバル化） 【知識及び技能】職業選択、雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢化における社会保険の充実・安定化、市場経済の機能と限界、金融の働き、経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における資源や格差の問題を含む。）などに関する現実社会の事例や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を営むことを通して資源の効率的な配分を図ること、市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割や役割が担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊厳を共に実現させることが必要であることについて理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】法、政治及び経済などの側面を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論議をもって表現すること。 【主体的に学習に取り組む態度】経済のグローバル化について、現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・経済がグローバル化するなかで、貧困や格差などの問題を引き起こす、すべての人が幸福に暮らすために、国際社会や私たちがどうあるべきか考える。	【知識及び技能】経済のグローバル化に関する現実社会の事例や課題を理解している。 【思考力・判断力・表現力】地理など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、政治分野の国際機関の取り組みなども関連させ、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】経済のグローバル化について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
3 学期	I 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 【知識及び技能】これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解すること。 【思考力・判断力・表現力等】その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察し、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論議を基に自分の考えを説明、論述すること。 【主体的に学習に取り組む態度】現代の諸課題を主体的に解決しようとする。	・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する活動を行う。	【知識及び技能】これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解している。 【思考力・判断力・表現力】その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察し、構想し、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、論議を基に自分の考えを説明、論述している。 【主体的に学習に取り組む態度】現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	9
	学年末 考査						1
授業時数合計							70

令和6年度 年間授業計画

教科名	数学	科目名	数学 I	単位数	3
対象学年・組	1 学年 1組・2組・3組・4組				
使用教科書	新編数学 I (数研出版)				
使用教材	3TRIAL数学 I +A、チャートなど				

教科の目標

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会的事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 中 間	A 第1章 数と式 第1節 式の計算 【知識及び技能】 ・二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・多項式の加法、減法 ・多項式の乗法 ・因数分解 ・複雑な式の因数分解 ・3次式の展開と因数分解 補充問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・多項式について、同類項をまとめたり、ある文字に着目して降べきの順に整理したりすることができる。 ・式の形の特徴に着目して変形し、展開の公式が適用できるようにすることができる。 ・展開、因数分解の公式が利用できる。 【思考力・判断力・表現力】 ・因数分解を行うのに、文字の置き換えを利用することができる。 ・式を1つの文字に置き換えることによって、式の計算を簡略化している。 ・複雑な式についても、項を組み合わせる、降べきの順に整理するなどして見通しをよくすることで、因数分解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・単項式、多項式とその整理の仕方に関心をもち、考察しようとする。 ・式の変形、整理などの工夫において、よりよい方法を考察しようとする。 ・展開と因数分解の関係に着目し、因数分解できる式について関心をもち、	○	○	○	8
	B 第1章 数と式 第2節 実数 【知識及び技能】 ・数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算をすることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・問題を解決する際に、既に学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・実数 ・根号を含む式の計算 ・2重根号 補充問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・分数を循環小数で表すことができる。 ・根号を含む式の加法、減法、乗法の計算ができる。また、分母の有理化ができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・実数を数直線上の点の座標として捉えられる。また、実数の大小関係と数直線とを関係づけて考察できる。 ・根号を含む式の計算について、一般化して考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身のまわりの計算式を証明しようとする。 ・対称式の値の求め方に興味を示し、自ら考察しようとする。 ・循環小数が分数で表現できることに関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	6
	定期考査				○	○	
1 学期 末	C 第1章 数と式 第3節 1次不等式 【知識及び技能】 ・不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、1次不等式の解を求めることができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察する。 ・日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、1次不等式で問題解決に活用する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・不等式の性質 ・1次不等式 ・絶対値を含む方程式・不等式 ・絶対値と場合分け 補充問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・不等式の性質や不等式における解の意味などを理解し、1次不等式を解くことができる。 ・絶対値の意味から、絶対値を含む方程式・不等式を解くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・身のまわりの問題を1次不等式の問題に帰着させ、問題を解決しようとしている。 ・絶対値記号を含むやや複雑な式についても、適切に絶対値記号を外し処理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・不等式の性質について、等式における性質と比較して、考察しようとする。 ・日常的な事象に1次不等式が活用できることに関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	8
	D 第2章 集合と命題 【知識及び技能】 ・集合と命題に関する基本的な概念を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・集合 ・命題と条件 ・命題とその逆、対偶、裏 ・命題と証明 ・ $\neg$ が無理数であることの証明 補充問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 模擬試験過去問題 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・集合とその表し方を理解している。また、2つの集合の関係を、記号を用いて表すことができる。 ・空集合、共通部分、和集合、補集合、ド・モルガンの法則について理解している。 ・必要条件、十分条件、必要十分条件、同値の定義を理解している。 ・命題の逆・対偶・裏の定義と意味を理解し、それらの真偽を調べることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察している。 ・命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察している。 ・命題の条件や結論に着目し、命題に応じて対偶の利用や背理法の利用を適切に判断し、命題を証明している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・3つの集合についても、和集合、共通部分について考察しようとする。 ・条件を満たすものの集合の包含関係を、命題の真偽に関連していることに着目し、命題について調べようとしている。 ・直接証明法では難しい命題も、対偶を用いた証明法や背理法を用いると鮮やかに証明できることに興味・関心をもち、実際に証明しようとする。	○	○	○	10
	定期考査				○	○	
2 学期 中 間	E 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 【知識及び技能】 ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかきなどして多面的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・関数とグラフ ・座標平面上の点と象限 ・2次関数のグラフ ・グラフの平行移動、対称移動 補充問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・定義域に制限がある1次関数のグラフがかけて、値域が求められる。 ・ $y=ax^2$ 、 $y=ax^2+q$ 、 $y=a(x-p)^2$ 、 $y=a(x-p)^2+q$ の表記について、グラフの平行移動とともに理解している。 ・ ax^2+bx+c を $a(x-p)^2+q$ の形に変形できる。 ・平方完成を利用して、2次関数 $y=ax^2+bx+c$ のグラフの軸と頂点を調べ、グラフをかきことができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・2次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察している。 ・放物線の平行移動を、頂点の移動に着目して、考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・放物線のもつ性質に興味・関心を示し、自ら調べようとする。 ・放物線の平行移動や対称移動の一般公式を考察しようとする。	○	○	○	10

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期 中 間	E 第3章 2次関数 第2節 2次関数の値の変化 【知識及び技能】 ・2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解する。 ・2次関数の最大値や最小値を求める。 【思考力・判断力・表現力等】 ・2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフをかくなどして多面的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・2次関数の最大・最小 ・定義域が変化するときの関数の最大値・最小値 ・2次関数の決定 ・補充問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・2次関数を $y=a(x-p)^2+q$ の形に変形して、最大値、最小値を求めることができる。 ・2次関数の定義域に制限がある場合に、最大値、最小値を求めることができる。 ・2次関数の決定において、与えられた条件を関数の式に表現し、2次関数を決定することができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・具体的な事象の最大・最小の問題を、2次関数を用いて表現し、処理することができる。 ・定義域が変化するときや、グラフが動くときの最大値や最小値について、考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常生活における具体的な事象の考察に、2次関数の最大・最小の考えを活用しようとする。 ・2次関数の決定条件に興味、関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学 期 期 末	F 第3章 2次関数 第2節 2次方程式と2次不等式 【知識及び技能】 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求める。 【思考力・判断力・表現力等】 ・2つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・2次方程式 ・2次関数のグラフとx軸の位置関係 ・放物線と直線の共有点の座標 ・2次不等式 ・2次関数のグラフとx軸の正の部分が変わる条件 ・補充問題 ・章末問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート ・模擬試験過去問題 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・2次方程式において、判別式の符号と実数解の個数の関係を理解している。 ・2次関数のグラフとx軸の共有点の座標および個数が求められる。 ・2次不等式を解くことができる。 ・2次の連立不等式を解くことができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、判別式の符号から考察している。 ・2次関数の値の符号と2次不等式の解を相互に関連させて考察している。 ・2次式が一定の符号をとるための条件を、グラフと関連させて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・2次関数のグラフとx軸の位置関係を調べ、その意味を探ろうとしている。 ・身近な問題を2次不等式で解決しようとしている。 ・2次関数で表される事象の具体例について興味をもち、考察している。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
3 学 期	G 第4章 図形と計量 第1節 三角比 【知識及び技能】 ・鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。 ・三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、定理や公式として導く。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・三角比 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張 ・補充問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・直角三角形の辺の長さを三角比で表す式を理解し、測量などの応用問題に利用できる。 ・三角比の相互関係を利用して、1つの値から残りの値が求められる。 ・ $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ において、三角比の値から θ を求めることができる。また、1つの三角比の値から残りの値を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・具体的な事象を三角比の問題としてとらえることができる。 ・三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察している。 ・既知である鋭角の三角比を、鈍角の場合に拡張して考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常の事象や社会の事象などに三角比を活用しようとする。 ・これまでに学習している数や図形の性質に関する拡張と対比し、三角比を鋭角から鈍角まで拡張して考察しようとする。 ・三角比が与えられたときの θ を求める際に、図を積極的に利用しようとする。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
3 学 期	I 第4章 図形と計量 第2節 三角形への応用 【知識及び技能】 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関連付けて理解し、三角形の辺の長さや角の大きさなどを求める。 【思考力・判断力・表現力等】 ・図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・正弦定理・余弦定理とその応用 ・三角形の面積 ・空間図形への応用 ・補充問題 ・章末問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート ・模擬試験過去問題 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさ、外接円の半径が求められる。 ・三角比を用いた三角形の面積を求める公式を理解し、3辺が与えられた三角形の面積などを求めることができる。 ・三平方の定理をもとに四面体などの体積を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・正弦定理を $a:b:c = \sin A:\sin B:\sin C$ としてとらえ、三角形の角の大きさについて考察している。 ・三角形の面積を求める際、適切な決定条件を判断できる。 ・空間図形への応用において、適当な三角形に着目して考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正弦定理の図形的意味を考察する。また、三角形の外接円、円周角と中心角の関係などから正弦定理を、三平方の定理をもとに余弦定理を導こうとする。 ・日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとする。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
3 学 期	J 第5章 データの分析 【知識及び技能】 ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解する。 ・コンピュータなどの情報機器を用いるなどして、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりする。 ・具体的な事象において仮説検定の考え方を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察する。 ・目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現する。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論議に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばりや四分位数 ・分散と標準偏差 ・変量の変換 ・2つの変量の間の関係 ・統計的探究プロセス ・仮説検定の考え方 ・補充問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・範囲や四分位範囲の定義やその意味を理解し、それらを求めることができる。また、データの散らばりを比較することができる。 ・偏差、分散、標準偏差の定義とその意味を理解し、それらに関する公式を用いて、分散、標準偏差を求めることができる。 ・相関係数の定義とその意味を理解し、定義にしたがって求めることができる。また、相関係数は散布図の特徴を数値化したものであること、数値化して扱うことのよさを理解している。 ・仮説検定の考え方を理解し、具体的な事象に当てはめて考えることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・データの中に他の値から極端にかけ離れた外れ値が含まれる場合について、外れ値の背景を探ることの利点を考察している。 ・データの相関について、散布図や相関係数を利用してデータの相関を的確にとらえて説明することができる。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、実験などを通して、問題の結論について判断したり、その妥当性について批判的に考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・身近な統計における代表値の意味について考察しようとする。 ・相関の強弱を数値化する方法を考察しようとする。 ・身近な事象において、仮説検定の考え方を活用して判断しようとしている。	○	○	○	11
	学年末考査			○	○		1

令和6年度 年間授業計画

教科名	数学	科目名	数学A	単位数	2
対象学年・組	1 学年 1組・2組・3組・4組				
使用教科書	新編数学A（数研出版）				
使用教材	3TRIAL数学I+A、チャートなど				

教科の目標

【知識及び技能】	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	図形の構成要素間関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 中 間	A 準備 集合 【知識及び技能】 ・集合と関する基本的な概念を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察する力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・集合と要素 ・集合の表し方 ・部分集合 ・共通部分と和集合 ・補集合 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・和集合や補集合について理解し、ベン図を利用するなどしてその要素の個数を求めることができる。 ・具体的な日常の事象に対して、集合を考えることで、人数などを求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・ベン図を利用して集合を図示することで、集合の要素の個数を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集合を考えることで、日常的な事柄などを、集合の要素の個数として数学的に数えようとする。 ・表を作って集合の要素の個数を求める方法に興味を示し、それを利用しようとする。	○	○	○	3
	B 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 【知識及び技能】 ・集合の要素の個数に関する基本的な関係や和の法則、積の法則などの数え上げの原則について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・集合の要素の個数 ・倍数の個数 ・集合の応用 ・樹形図 ・和の法則、積の法則 ・補充問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・樹形図を用いて、場合の数をめれなくかつ重複なく数えることができる。 ・和の法則、積の法則の利用場面を理解し、事象に応じて使い分けて場合の数を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・場合の数を数える適切な方針を考察することができる。 ・自然数の正の約数の個数を数える方法について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・樹形図、和の法則や対称性などによる場合の数の数え方に関心をもつ。 ・自然数の正の約数の個数を数えること、式の展開を利用して約数が列挙できることに興味をもつ。	○	○	○	5
	定期考査				○	○	
1 学 期 末	C 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 【知識及び技能】 ・具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・順列の総数 ・円順列 ・重複順列 ・補充問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・順列、円順列、重複順列の公式を理解し、利用することができる。 ・条件が付く順列、円順列を、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理している。 ・既習事項をもとにして、円順列や重複順列などを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・順列、円順列、重複順列の違いに興味・関心をもつ。 ・具体的な事象について、順列の考えを適切に用いて問題解決しようとしている。	○	○	○	5
	C 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 【知識及び技能】 ・具体的な事象を基に順列及び組合せの意味を理解し、順列の総数や組合せの総数を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象の構造などに着目し、場合の数を求める方法を多面的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・組分けの総数 ・同じものを含む順列 ・重複を許して作る組み合わせ ・補充問題 ・章末問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・組合せの公式を理解し、利用することができる。 ・組分けや同じものを含む順列の総数を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・条件が付く組合せを、見方を変えたり別なものに対応させたりして処理している。 ・既習事項をもとにして組み合わせの総数を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・組合せの考え方を利用して図形の個数や同じものを含む順列の総数などが求められることに興味・関心をもつ。 ・具体的な事象について、組合せの考えを適切に用いて問題解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査				○	○	
2 学 期 中 間	E 第1章 場合の数と確率 第2節 確率 【知識及び技能】 ・確率の意味や基本的な法則についての理解を深め、それらを用いて事象の確率や期待値を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・確率の性質や法則に着目し、確率を求める方法を多面的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・確率の意味 ・試行と事象 ・同様に確からしいときの確率 ・いろいろな事象の確率 ・積事象と和事象 ・排反事象 ・確率の基本性質 ・読事象とその確率 ・一般の和事象の確率 ・補充問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・確率の定義を理解し、確率の求め方がわかる。 ・確率の基本性質を理解し、和事象、余事象の確率の求め方がわかる。 ・確率の計算に集合を活用し、複雑な事象の確率を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・不確実な事象を、同様に確からしいという概念をもとに、数量的に捉えている。 ・集合の性質を用いて、確率の性質を一般的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・1個のさいころを繰り返し投げた実験などを通して、統計的確率と数学的確率の違いに興味・関心をもつ。 ・加法定理などを利用して、複雑な事象の確率を意欲的に求めようとする。	○	○	○	8

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
2 学 期 中 間	E 第1章 場合の数と確率 第2節 確率 【知識及び技能】 ・独立な試行の意味を理解し、独立な試行の確率を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・独立な試行の確率 ・反復試行の確率 ・補充問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・独立な試行や反復試行の確率を、公式を用いて求めることができる。 ・複雑な独立試行や反復試行の確率を、公式や加法定理などを用いて求めることができる。 ・条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算ができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・既習の確率の知識を利用して、反復試行の確率について考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・具体的事象について、独立試行や反復試行の確率を、興味をもって調べようとする。	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
2 学 期 期 末	E 第1章 場合の数と確率 第2節 確率 【知識及び技能】 ・条件付き確率の意味を理解し、簡単な場合について条件付き確率を求める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断したり、期待値を意思決定に活用したりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・条件付き確率 ・確率の乗法定理 ・期待値 ・期待値の利用 ・補充問題 ・章末問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・条件付き確率や確率の乗法定理を用いて確率の計算ができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・既習の確率と条件付き確率の違いについて、図や表などを用いて考察している。 ・結果が不確実な状況下において、どの選択が有利かを判断する基準として、期待値の考えを用いて考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・条件付き確率や確率の乗法定理の考えに興味・関心を持ち、積極的に活用しようとする。 ・日常の事象における不確実な事柄について判断する際に、期待値を用いて比較し、考察しようとする。	○	○	○	5
	F 第2章 図形の性質 第1節 平面図形 【知識及び技能】 ・三角形に関する基本的な性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・三角形の辺の比 ・三角形の外心・内心・重心 ・チェバ・メネラウスの定理 ・円に内接する四角形 ・補充問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・定理を適切に利用して、線分の比や長さを求めることができる。 ・三角形の外心、内心、重心の定義、性質を理解している。 ・チェバの定理、メネラウスの定理について理解し、三角形に現れる線分比を求める問題に活用できる。 ・円に内接する四角形の性質を利用して、角度を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・図形の性質を証明するのに、既習事項を用いて論理的に考察している。また、適切な補助線を引いて考察している。 ・チェバの定理、メネラウスの定理について、論理的に考察し、証明している。 ・円に内接する四角形の性質に着目し、逆に、四角形が円に内接するための条件について論理的に考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・線分を内分・外分する点や、三角形の角の二等分線と比について調べようとしている。 ・三角形の外心、内心、重心、チェバの定理、メネラウスの定理に関する性質に興味を示し、積極的に考察しようとする。 ・三角形の外接円は必ず存在するが、三角形以外の場合は必ずしも存在しないことから、四角形が円に内接する条件を考察しようとする。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
3 学 期	I 第2章 図形の性質 第1節 平面図形 【知識及び技能】 ・円に関する基本的な性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりする。 ・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどとして、図形の性質や作図について統一的・発展的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・円の接線と弦の作る角 ・方べきの定理 ・方べきの定理の逆 ・2つの円の位置関係 ・2つの円の共通接線 ・作図 ・補充問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・円の基本的な性質を理解している。 ・円に内接する四角形の性質を利用して、角度を求めることができる。 ・円の接線の性質や方べきの定理を利用して、線分の長さなどを求めることができる。 ・共通接線の定義を理解し、その長さの求め方がわかる。 【思考力・判断力・表現力】 ・円に内接する四角形の性質に着目し、逆に、四角形が円に内接するための条件について論理的に考察している。 ・方べきの定理について、対象とする図形に応じて見方を変えて考えることができる。 ・2つの円を動的にとらえて、それらの位置関係を考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三角形の外接円は必ず存在するが、三角形以外の場合は必ずしも存在しないことから、四角形が円に内接する条件を考察しようとする。 ・2つの円の位置関係と、中心間の距離と半径の関係を積極的に考察しようとする。	○	○	○	10
	J 第2章 図形の性質 第2節 空間図形 【知識及び技能】 ・空間図形に関する基本的な性質について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形の構成要素間の関係や既に学習した図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見だし、その性質について論理的に考察したり説明したりする。 ・コンピュータなどの情報機器を用いて図形を表すなどとして、図形の性質や作図について統一的・発展的に考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	指導項目 ・2直線の位置関係 ・直線と平面の位置関係 ・2平面の位置関係 ・多面体 ・オイラーの多面体定理 ・正多面体から切り取った立体 ・正多面体の体積 ・正多面体の種類 ・補充問題 ・章末問題 使用教材 ・教科書傍用問題集 ・チャート 一人1台端末の活用 ・解説動画の視聴 ・課題の提示、提出	【知識及び技能】 ・空間における2直線の位置関係やなす角を理解している。 ・正多面体の特徴を理解し、それに基づいて面、頂点、辺の数を求めることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・空間における直線と平面が垂直になるための条件を、与えられた立体に当てはめて考察している。 空間における直線や平面が平行または垂直となるかどうかを、与えられた条件から考察している。 ・正多面体の満たす条件を理解し、正多面体から切り取った立体がまた正多面体であることを示す。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・空間における図形の位置関係について、積極的に考えてみようとする。 ・オイラーの多面体定理がどんな凸多面体でも成り立つかどうか調べようとしている。	○	○	○	9
	学年末考査			○	○		1

授業時数合計

70

令和6年度 年間授業計画

教科名	理科	科目名	化学基礎	単位数	2
対象学年・組	1学年 1・2・3・4組				
使用教科書	高等学校化学基礎（数研出版）				
使用教材	VisualSelect 化学基礎ノート、プリント、Classi				

教科の目標

【知識及び技能】	正しい情報を得て、科学的な用語や事象を答えることができる。
【思考力、判断力、表現力等】	正しい情報を共有し、対話を通して理解を深め、課題の解決ができる。
【主体的に学習に取り組む態度】	自らの資質・能力を理解し、授業を通してより発展するように取り組むことができる。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
観察、実験などを通して、化学の原理・法則を見いだすとともに、基本的な概念を身につけている。自ら考え、見通しをもって主体的に観察、実験を行い、化学的に探求する技能を身につけている。	身近な物質とその変化の中から問題を見だし、研究する過程を通して、化学的に正しく判断し、的確に表現できる。	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化への関心を高め、それらを積極的に探究しようとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 中間	A 化学と人間生活 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	・日常生活を支える物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。 ・教科書、プリント ・Webテスト、グループワーク、調べ学習に一人1台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活を支える物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	5
	B 物質の探究 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	・物質の構造や性質、粒子の熱運動と粒子間に働く力に関する事象に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとする。 ・教科書、プリント ・Webテスト、グループワーク、調べ学習に一人1台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 身近な物質の分離や元素の確認などの実験から、単体や化合物・混合物について考察できる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
1 学期 期末	C 物質の構成粒子 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	・物質を構成する原子の構造や、元素の性質に興味を持ち、元素の性質が周期的に変わることを探知しようとする。 ・教科書、プリント ・Webテスト、グループワーク、調べ学習に一人1台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 原子は原子核と電子からなっていて、価電子が物質の性質を決めていることを、推論できる。導いた考えを的確に表現できる。	○	○	○	8
	D イオン結合 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	イオン結晶がどのような粒子からなり、どのような力で結びついているのかを探知しようとする。 ・教科書、プリント ・Webテスト、グループワーク、調べ学習に一人1台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 イオン結合でできた物質について、その性質を結合と関連づけて考察することができる。導いた考えを的確に表現できる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
2 学期 中間	E 共有結合 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	・分子結晶や共有結合の結晶がどのような粒子からなり、どのような力で結びついているのかを探知しようとする。 ・教科書、プリント ・Webテスト、グループワーク、調べ学習に一人1台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 分子間力や共有結合でできた物質について、その性質を結合と関連づけて考察することができる。導いた考えを的確に表現できる。	○	○	○	5
	F 金属結合 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	・金属結晶がどのような粒子からなり、どのような力で結びついているのかを探知しようとする。 ・教科書、プリント ・Webテスト、グループワーク、調べ学習に一人1台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 金属結合でできた物質について、その性質を結合と関連づけて考察することができる。導いた考えを的確に表現できる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
2 学期 期末	G 物質と化学反応式 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	化学変化の量的関係に興味をもち、意欲的にその関係を探知しようとする。 ・教科書、プリント ・Webテスト、グループワーク、調べ学習に一人1台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 原子量、分子量、式量と物質質量及び化学反応式を理解し、物質質量を用いた基本的な計算ができる。また、実験結果から化学変化の量的関係を考察できる。	○	○	○	8
	H 酸と塩基 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	・酸・塩基、中和反応に関心をもち、それらを日常生活と関連付けて意欲的に探究しようとする。 ・教科書、プリント ・Webテスト、グループワーク、調べ学習に一人1台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの学びを振り返り、自らの変容を理解し、深く学ぶためにどうするか考えることができる。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
3 学期	I 酸化還元反応 【知識及び技能】 資料の文章から必要な知識得ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 実験を通して、物質の物理的性質や化学的性質を調べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 物質に関心をもち、化学が人間生活に果たしている役割について、意欲的に探究しようとする。	・燃焼や金属の溶解など、身近な酸化還元反応に興味をもち、それらの共通性を意欲的に探究する。 ・教科書、プリント ・Webテスト、グループワーク、調べ学習に一人1台端末を利用する。	【知識及び技能】 教科書を読み、内容に関わる用語や説明を理解することができる。 【思考力・判断力・表現力】 資料より得た知識を対話により伝え、自らの考えを具体的に示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自らの学びを振り返り、自らの変容を理解し、深く学ぶためにどうするか考えることができる。	○	○	○	9
	学年末考査			○	○		1

令和6年度 年間授業計画

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	3
対象学年・組	1年1・2・3・4組				
使用教科書	大修館書店 新高等保健体育				
使用教材	なし				

教科の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
<ul style="list-style-type: none"> 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則 体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方 	<ul style="list-style-type: none"> 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫すると 	<ul style="list-style-type: none"> 勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にし、フェアなプレイを心掛ける 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を大切にしようとする ひとりひとりの違いを大切にし、互いに高めあうようにする

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>1 学 期</p> <p>A 単元 【理由付けする・関連づける】 (オリエンテーション) 体育の授業を受けるうえで守るべきルールを理解し行動できるようにする。 運動の意義を理解し主体的に取り組む資質を身に付ける。 自他を尊重する態度を身に付ける。</p> <p>【具体化する・構造化する】 (身体づくり運動・体力テスト) 体力を高める運動の仕方を理解し実践できるようにする。 計測方法を理解し正確に実施することができる。</p> <p>(柔道) 伝統的な礼儀作法を理解し行動できるようにする。 相手を尊重する態度を身に付ける。 体力や柔軟性を高める運動の仕方について正しく理解し実践できるようにする。 後受身、前受身、横け身、前回受身の習得。 柔道のルールを理解する。 袈裟固・横四方固の習得。</p> <p>(水泳) 水泳の授業を安全に行うために必要な守るべきルールを理解し行動できるようにする。 クロールと平泳ぎの正しい形を理解し、伸びのある動作と安定したペースで長く泳ぐことができる。</p>	<p>オリエンテーション 身体づくり運動 体力テスト 武道(柔道) 水泳</p>	<p>【知識及び技能】① 【思考力・判断力・表現力】② 【主体的に学習に取り組む態度】③ 主体的に取り組んでいるか③ 正しい態度で話を聞いているか③ 授業のルールを理解し守ることのできているか①②③ 体力テストの正しい方法を理解し測定することができるか①②③ 相手を尊重する態度で取り組んでいるか②③ 受身が正しく出来ているか① 抑技が正しく出来ているか① 礼法が正しくできているか① 柔道着を正しく着られているか①② 対人練習の仕方が出来ているか①② クロール・平泳ぎの正しい体の使い方が出来ているか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストを行い評価する</p>	○	○	○	30
<p>2 学 期</p> <p>【具体化する・構造化する】 (柔道) 伝統的な礼儀作法を理解し行動できるようにする。 相手を尊重する態度を身に付ける。 体力や柔軟性を高める運動の仕方について正しく理解し実践できるようにする。 後受身、前受身、横け身、前回受身の習得。 袈裟固、横四方固、上四方固、縦四方固の習得。 相手の背後からの攻撃パターンからの習得。 自分が仰向けの姿勢からの攻撃パターンからの習得。 背中合わせで寝技乱取りができるようになる。</p> <p>(水泳) 水泳の授業を安全に行うために必要な守るべきルールを理解し行動できるようにする。 クロールと平泳ぎの正しい形を理解し、伸びのある動作と安定したペースで長く泳ぐことができる。 速く正確に泳げるようになる。</p> <p>(バドミントン) フォアハンド・バックハンド及びサーブの習得。 スマッシュ・ドライブ・ハイクリア・ドロップショットの習得。 シングルス・ダブルスのルールを理解し公正に試合ができるようになる。</p> <p>(卓球) フォアハンドドライブ・バックハンドドライブ及びサーブの習得。 ラリーを続けられるようになる。 シングルス・ダブルスのルールを理解し公正に試合ができるようになる。</p> <p>(長距離走) 長距離走の特性を理解し、効率的なフォームで走ることができる。 一定の時間、安定したペースで走ることができる。</p>	<p>武道(柔道) 水泳 バドミントン 卓球 陸上競技(長距離走)</p>	<p>主体的に取り組んでいるか③ 正しい態度で話を聞いているか③ 授業のルールを理解し守ることのできているか③ 相手を尊重する態度で取り組んでいるか①②③ 受身が正しく出来ているか①② 抑技が正しく出来ているか①② 礼法が正しくできているか①② 状況に応じた技の攻防が出来ているか①② 柔道着を素早く正確に着られるか②③ 対人練習の仕方が出来ているか①② クロール・平泳ぎの正しい体の使い方が出来ているか①② ルールを理解し公正に試合が出来ているか①②③ 状況に応じたショットを打つことができるか①② 一定の時間、安定したペースで走ることができるか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストを行い評価する</p>	○	○	○	45
<p>3 学 期</p> <p>【具体化する・構造化する】 (柔道) 柔道のルールを理解し公正に寝技の試合をすることができる。 (長距離走) 長距離走の特性を理解し、効率的なフォームで走ることができる。 一定の時間安定したペースで走ることができる。 マラソン大会を完走する。</p> <p>【理由付けする・関連づける】 (体育理論) 運動やスポーツの楽しさ・必要性を理解し、豊かなスポーツライフを送ることができるようにする。</p>	<p>武道(柔道) 陸上競技(長距離走) 体育理論</p>	<p>【観点】 公正な態度で試合ができるか②③ 安定したペースでより速く走ることができるか①② マラソン大会を完走できるか①②③ 運動やスポーツの意義を理解できているか①②③ 【方法】 授業の取り組み及び記録測定、実技テストプリントチェックを行い評価する</p>	○	○	○	30

令和6年度 年間授業計画

教科名	保健体育	科目名	保健	単位数	1
対象学年・組	1年1・2・3・4組				
使用教科書	新高等保健体育（大修館書店）				
使用教材	プリント				

教科の目標

【知識及び技能】	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする
【思考力、判断力、表現力等】	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
【主体的に学習に取り組む態度】	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたって心身の健康を保持・増進し豊かなスポーツライフを継続するための知識と技能の習得	学んだ知識・技能を活用し課題の解決に向けて様々な健康情報を収集・選択・判断・活用して対応できる思考力、判断力、表現力の育成	主体的に学習する姿勢や自ら思考・判断・表現する能力や態度を身に着ける

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>【比較する・分類する・理由付けする・関連付ける】 健康の考え方が変化していることを例をあげて説明できる。健康を成り立たせている要因をあげることができる。</p> <p>わが国の健康水準の変化とその背景を説明できる。わが国の現在の健康問題をあげることができる。</p> <p>健康に関する意思決定・行動選択には、何が重要かを説明できる。ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴を説明できる。</p> <p>生活習慣病の例をあげ、なぜその病気が生活習慣病と呼ばれるかを説明できる。生活習慣病を予防する方法を2つに分けて説明できる。</p> <p>健康にとっての食事の意味について説明できる。健康的な食事のポイントを上げることができる。</p> <p>運動が健康に及ぼす影響と、健康によい運動の行い方について説明できる。健康にとっての休養の意味と、適切な休養のとり方について説明できる。</p> <p>喫煙者やその周囲の人に起こる害を説明できる。日本や世界における喫煙対策の例をあげることができる。</p>	<p>健康の考え方や成り立ち</p> <p>私たちの健康のすがた</p> <p>健康に関する意思決定・行動選択と環境づくり</p> <p>生活習慣病とその予防</p> <p>食事と健康</p> <p>運動・休養と健康</p> <p>喫煙と健康</p>	<p>【観点】 授業のルールを守ることができているか 健康・安全について理解を深めようとしているか 健康についての課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考判断しているか</p> <p>【方法】 授業の取り組み及びノートチェック、定期考査の実施</p>	○	○	○	10
2 学 期	<p>【比較する・分類する・理由付けする・関連付ける】 飲酒による健康への短期的な影響と長期的な影響を説明できる。飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策の例をあげることができる。</p> <p>薬物乱用が心身の健康や社会に与える影響について説明できる。薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策の例をあげることができる。</p> <p>新たな感染症の問題に関して例をあげて説明できる。感染症の予防について、社会と個人に分けて説明できる。</p> <p>新たな感染症の問題に関して例をあげて説明できる。感染症の予防について、社会と個人に分けて説明できる。</p> <p>人間の欲求の種類を説明できる。欲求不満に対処するための適応規制の例をあげることができる。</p> <p>心と体の働きが相互に影響しあう関係について例をあげて説明できる。ストレスの心理・社会的要因と物理的要因の例をあげることができる。</p> <p>ストレスへのさまざまな対処方法の例をあげることができる。自己実現と心の健康の関係を説明できる。</p>	<p>飲酒と健康</p> <p>薬物乱用と健康</p> <p>感染症とその予防</p> <p>性感染症・エイズとその予防</p> <p>欲求と適応規制</p> <p>心身相関とストレス</p> <p>心の健康のために</p>	<p>【観点】 授業のルールを守ることができているか 健康・安全について理解を深めようとしているか 健康についての課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考判断しているか</p> <p>【方法】 授業の取り組み及びノートチェック、定期考査の実施</p>	○	○	○	15
3 学 期	<p>【比較する・分類する・理由付けする・関連付ける】 若者の交通事故の特徴を説明できる。交通事故の発生に関係する要因を、例をあげて説明できる。</p> <p>運転者に必要な資質と責任を説明できる。安全な交通社会づくりのための対策を、例をあげて説明できる。</p> <p>適切な応急手当の意義を説明できる。傷病者を発見したときに、確認・観察するポイントをあげることができる。</p> <p>日常的な応急手当の手順や方法を説明できる。熱中症の応急手当の手順や方法を説明できる。</p> <p>胸骨圧迫、人工呼吸、AEDによる除細動の原理を説明できる。心肺蘇生法の各手順のポイントをあげることができる。</p>	<p>交通事故の現状と要因</p> <p>交通事故を防ぐために</p> <p>応急手当の意義とその基本</p> <p>日常的な応急手当</p> <p>心肺蘇生法の原理とおこない方</p>	<p>【観点】 授業のルールを守ることができているか 健康・安全について理解を深めようとしているか 健康についての課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考判断しているか</p> <p>【方法】 授業の取り組み及びノートチェック、定期考査の実施</p>	○	○	○	10

令和6年度 年間授業計画

教科名	芸術	科目名	音楽 I	単位数	2
対象学年・組	1学年 1組、2組、3組、4組				
使用教科書	教育芸術社 MOUSA 1				
使用教材	歌集・ミュージックランド				

教科の目標	音楽に関する幅広い活動を通して、心豊かな生活を送り、社会の中で創造的な関わりをもつ力を養う
【知識及び技能】	音楽と文化・歴史背景等の関わりについて学び、理解を多角的に深める。音楽表現のための多様な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表現している。
【思考力、判断力、表現力等】	音楽を形づくる要素や、要素同士の関連を知覚し、それらを音楽にする際に意図を持つことができる。適切に評論するなどできている。
【主体的に学習に取り組む態度】	音楽文化と豊かに関わり、主体的、協働的に表現したり、鑑賞するなどの学習活動に取り組んでいる。

科目の目標	音楽の幅広い活動を通して、主体的に生活や社会の中で自己を表現し、他者とコミュニケーションする能力を育成する。	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽の持つ要素や、文化的、歴史的背景の関連性を理解し、音楽の多様性を理解する。歌唱、器楽、創作において表現するための技能を身につける。	自己の創意工夫によって豊かな音楽表現をできるようにする。また、音楽の特徴を理解し評価しながら、美しさや面白さを味わって聴くことができるようになる。	音楽の幅広い活動を通して、主体的に表現に取り組み、他者と思いやりをもって協働する態度を養う。また、音楽によって生活や社会を豊かにしていく心を持つ。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 時 数
			歌	器	創					
1 学 期	A 単元 歌唱表現 校歌習得、教科書掲載曲を歌う 【知識及び技能】 歌詞の意味を理解し、日本語を伝えられるような発声、発声の技術について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 曲想や音楽の特徴を理解し、表現するのにふさわしい声を考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の声と身体に注意を向け、しっかりと発声を身につける	・校歌、および歌集、教科書掲載曲を歌う。 ・発声練習を行い、身体の使い方や母音の口の開け方、子音の発音の注意点を学ぶ。 ・声変わりや自分の今の声域について知る。	○			・曲想と音楽の構造、歌詞の意味内容を理解して歌っている。(知) ・曲にふさわしい発声を理解し、工夫して歌っている。(思) ・咽喉、胸部、腹部など、身体の使い方を意識し、発声を行っている。(態)	○	○	○	8
	B 単元 楽典(拍子とリズム) 【知識及び技能】 楽譜の基礎知識を学ぶ。拍子、リズムについて読譜の基礎事項を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な音楽を聴き、身体を使ったリズム活動などを関連させて基本的なリズムの記譜法を学習する。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な音楽の基本拍を聴き分けることで、多くのスタイルの音楽を知り、それらを楽しみながら音楽活動を行う。	・4分の4拍子の捉え方 ・音符の種類と基本拍	○	○	○	・五線譜の基礎的なシステムを理解している。(知) ・様々な曲を聴きながらリズム活動をする中で、音符の長さなどを捉え、楽譜と結びつけることができる。(思) ・様々な曲を楽しみながら、学習と音楽活動を結び合わせて関心を持つことが出来る。(態)	○	○	○	8
	C 単元 キーボード(基礎) 【知識及び技能】 五線譜の意味を理解し、キーボードの構造を学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 指使いなどの奏法を楽譜に関連させて考え、練習することができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 既知の曲を使い、学習したことを主体的に関連させ練習を工夫できるようにする。	・キーボードの構造 ・指使い ・五線と音高 ・リズムの記譜		○		・リズムと合わせて五線譜の音高を理解している。(知) ・指使いを考えながら、キーボードでメロディを弾けるようになる。(思) ・キーボード奏法や楽譜の学習したことを合わせて練習を自主的に楽しんで行うことができる。(態)	○	○	○	8
	D 単元 ボビュラー音楽 【知識及び技能】 ロックやヒップホップなど、現在の世界の音楽について、歴史や音楽の特徴などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ボビュラー音楽とはどのような立ちで出来たものなのかを知り、現代の多様な音楽の在り方を考えながら鑑賞している。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の個人的な音楽経験と照らし合わせ、その音楽の歴史や成立を知ることで、新たな視座を持ち考えることができる。	・ロックの起源や特徴について ・ブルースやジャズの歴史や成立について ・ほかの多様なボビュラー音楽の特徴、成立、社会的影響力など学ぶ	○	○		・様々な音楽の歴史的成立や特徴などを、自らの関心からインターネットや教科書を用い、調べることができる。(知)(態) ・音楽の特徴がどのようなものなのか、リズム活動や歌唱活動を通じて、考えを深めることができる。(表) ・様々な着眼点を得て、曲や演奏に対する評価を根拠を呈し、行うことができる(思)	○	○	○	4
2 学 期	E 単元 ギター(基礎) 【知識及び技能】 ギターの構造を習得する。タブ、コードの基礎を学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 アバヤンド奏法、ストローク奏法を習得し、それぞれの曲に応じた表現を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 既知の曲を使い、学習したことを主体的に関連させ、練習を行う。	・ギターの構造について ・指使い、ピックの用い方 ・タブ譜とコードについて ・基本奏法を学習	○	○		・ギターの基本事項を習得することで、体系立てた練習を目論見立て、目的にそって実行することができる。(知)(表)(態) ・曲想に合った弾き方、歌い方を工夫し、ふさわしく表現している。(表)(思)	○	○	○	8
	F 単元 民族音楽 【知識及び技能】 様々な民族音楽を見たり聴いたりすることで、その特徴を見取り、聞き分けができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 特徴的なリズムや音階、また楽器や舞踊などを学習し、自ら表現活動をする中で、より包括的に音楽を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 民族音楽の良さや特徴を感じ取り、それらの意味や価値を考えている。	・リズム楽器習得、演奏 ・民族楽器の演奏法について ・舞踊や楽器を鑑賞	○	○		・民族的な音楽を知ることでその歴史的価値を学び、面白さ、美しさを感じ取ることができる。(知)(態) ・ギターの学習と合わせて、民族的な楽器としてのギターと、ポップスで使用される時の音楽的要素や役割の違いなどを考え、適切に評価することができる。(思)	○	○	○	8
	G 単元 ギター(応用) 【知識及び技能】 ギター基礎で学んだことを活かし、コードを弾きながら歌うことで、より音楽を包括的に感じ取り、表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 既知の曲をより自分らしい表現となるよう、発声や音楽スタイルを工夫して表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 今までに得た演奏知識を使い、より豊かな表現ができるよう練習している。また、クラスのメンバーと協力しあって練習している。	・弾き語りで表現する ・テンポ感、ストロークによるビートの表現 ・音楽にふさわしい声を工夫する	○	○		・ギター弾き語りによって、より包括的に音楽の諸要素を感じ取り、それらがどのように関連し合っているか、理解している。(知) ・曲がどのような音楽の内容によって成立し、音楽になっているかを理解し、諸要素を自分で表現している。(思) ・一曲の練習にあたり、どのように練習するか、目論見を形成して主体的に取り組んでいる。(態)	○	○	○	8
	H 単元 日本伝統音楽 【知識及び技能】 楽楽の構造や伝統音楽を知り、これまでの学習した楽器や音楽との違いについて、比較・学習する。 【思考力、判断力、表現力等】 伝統芸能や舞の鑑賞によって、それぞれの特徴や歴史的な成立、関わりを学習し、表現される内容を理解する。 【主体的に学習に取り組む態度】 音楽上の特徴などを見取り、聴き取ることで新たな発見を得、社会の中での価値を理解する。	・地域の伝統音楽について ・日本の伝統的な舞台芸能について(能楽、歌舞伎など) ・和楽器	○	○	○	・三味線とギターの違い、箏はどのように調弦するかなど、これまでの学習をふり振り返りながら、共通するところや、違いを掘り下げ、音楽的な要素を聞き取り、考えることができる。(知)(思) ・伝統芸能の舞台表現を知り、その面白みや工夫について発見を楽しみ、それを文章に主観、客観を織り交ぜながら書くことができる。(思) ・伝統芸能の良さを自分なりに発見し、社会的な価値を考えること	○	○	○	8
3 学 期	I 単元 作曲(作品制作) 【知識及び技能】 音階やコード進行について学習し、雰囲気をもった楽曲を創作する。 【思考力、判断力、表現力等】 イメージを持ってリズムや構成を工夫した音楽にする。 【主体的に学習に取り組む態度】 リズムセクションなど、学習した表現の手がかりを使って楽曲を制作している。	・音楽制作ソフトを用いて楽曲制作に取り組む	○	○	○	・音階の特徴や雰囲気を理解している。 ・音楽上の構成を考え、作品に活かそうとしている。(知) ・メロディ、リズム、ハーモニーを理解してきたことをまとめあげ、ソフトを使いこなしている(思・表) ・インターネット上の発信についてリテラシーを身につけ、ソフトを使用している(態)	○	○	○	6
	J 単元 社会と音楽 【知識・技能】 社会の中の音楽として、著作権法、適切な批評のあり方についてなど、マナーやインターネットリテラシーを学習する。 【思考・判断・表現等】 自分の好きな音楽を他者に伝える、批評的文章を作成するにあたり、表現を適切に行えるようになる。 【主体的に学習に取り組む態度】 現在の自分自身の知識や考えを整理し、「発信する」という役割を担うことの意義を考えさせる。	・著作権、批評活動について学習する。 ・SNSなど通じて発信者となるという自覚のもと、どのように音楽を使ったら良いか、主体的に考える。			○	・自分自身のインターネットに対する知見と合わせ、著作権法や情報発信の在り方を考えている(思)(知) ・これからの社会で、情報を発信する上での音楽、音響効果を考え、『適切に音楽を使用するとは』などを考察している。(態)	○	○	○	4

令和6年度 年間授業計画

教科名	芸術	科目名	美術 I	単位数	2
対象学年・組	1学年 1組、2組、3組、4組				
使用教科書	日本文教出版 高校生の美術 1				
使用教材	教科書・パルサ材・トレーシングペーパー・画用紙・ケント紙・和紙・短冊・鉛筆・筆・カリグラフィーペン・ドローイングインク・牛革				

教科の目標	工業製品の源泉を美術により興味の視野を拡大し多文化な付加価値を見出す能力を育む
【知識及び技能】	美術史・デザイン史、それを取り巻く都市文化の形成に関連する技能を習得する。
【思考力、判断力、表現力等】	アートと芸術の相違点を判断し、現代文化の構築と適合させる伝統的スキルを考える
【主体的に学習に取り組む態度】	日常に注視しモノの成立の経緯を考え工業製品の在り方を意識する

科目の目標	日常のモノに興味を抱き美的な発想を萌芽させる	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術史・デザイン史を通じ現代のフォントが形成される中世写本からモリスを中心とするアーツアンドクラフツ運動を実践しながら技能を深める	美術解剖に基づいた身体表現を試行。映像やインスタレーション創出への思考力の育成	現代建築や都市の景観に伴う多様な事象に興味を抱き、美的に解釈しアートの持つ価値に親和性を身に付けさせる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数	
			絵・彫	デ	映							
1 学期	A 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等										
	自己紹介カード【学びに向かう力、人間性】 ・身近なものの構造の面白さを見つける。	日常で接するモノに着目し既成概念にとらわれず表現する ・紙、鉛筆	○				・見慣れているモノや普段気に留めていないモノを改めて見つめなおすことができているか。 ・身近なモノの構造の良さや面白さを見つげられているか。			○	2	
	自画像【知識及び技能】 ・骨格などの身体の構成を知る。 自身の顔を立体的に表現する。	・トレーシングペーパーで顔面比率を考え頭蓋の部位を描写する。 ・顔面の比率を考えながら画用紙に転写し自然光を光源とした凹凸を意識して陰影で立体的に表現する。 ・端末を利用して多様な画家の作品を鑑賞し手法について考える。 ・画用紙・鉛筆・ネリけし・トレーシングペーパー	○			○	・骨格などの身体の構成を意識して制作できているか。 ・鑑賞した作品や、自らの顔を観察により発見したことや気が付いたことを作品に反映することができているか。 ・自己と他者の表現の違いと共に、鑑賞を通して感情を共有することができているか。			○	10	
	半立体模写【思考力、判断力、表現力】 ・鑑賞内容をふまえて名画を効果的にトリミング・強調する。	名画を鑑賞し、その一部をトリミング（部分拡大）して着彩する。平面を彫り下げて線描を強調、あるいはパルサ材を加工して立体表現を試みる。 木材、彫刻刀、絵の具	○	○	○		・制作過程を楽しみ、イメージした作品の制作に打ち込めたか。 ・名画を効果的に加工して自己表現できているか。 ・自己と他者の表現の違いと共に、鑑賞を通して感情を共有することができているか。			○	12	
2 学期	イラスト【学びに向かう力人間性等】 ・学習した単色による表現方法を自らの作品に反映させられている。	・単色による線描でバリエーションを学ぶ ・ケント紙・クラフトペン ・端末を利用してピアズリー、ミュッシュヤ、北斎漫画などを鑑賞し現代のアニメにいたる経緯を再考する。				○	・画材の違いによって異なる表現ができるということを理解し、制作に生かすことができているか。 ・ペンやインクで表現されてきた世界的な美術の歴史の変遷が理解できているか。				○	8
	カリグラフィー【知識及び技能】 ・線の教授恵を感じ、インクの特性を理解して表現する。	・中世写本にみられる文字の美しさを鑑賞し現代のフォントの源泉を考慮して実践する。 ・カリグラフィーペン、ドローイングインク、ケント紙 ・端末を使用してゴシックやイタリックの実例を考究する。				○	・インクの特性とペンによる線の美しさ、ゴシック体とイタリック体の相違点を表せているか。 ・カリグラフィー専用のペンでの表現を理解し、線の強弱を感じて制作できているか。			○	8	
	レザークラフト【知識及び技能】 ・皮革製品の特性を理解して製作することができる。	・文字やイラストで学んだスキルを材質の異なる牛革に工芸手法で表現する。 ・レザー、刻印棒、染料 ・端末でモリスのチョーサー本を調べ、その背景のラファエロ前派による工芸作品と派生した日本の民芸運動について鑑賞する。				○	・皮革製品の特性を理解しているか。 ・制作過程を楽しみ、イメージした作品の制作に打ち込めたか。 ・凹凸による表現の多様性を学習して伝統技術への理解を深めることができているか。			○	12	
3 学期	立体カード【思考力、判断力、表現力】 ・材料・道具の特性や使い方を理解して細密な表現をする。	・東京工業大学の立体展開図に基づき、開閉により建造物が表出する構造について予想しながら制作する。 ・端末を使用しイェンセン・レ・クリント（デンマーク）の照明など多様な類例を調べる ・デザインカッター、ケント紙				○	・紙の特性を学習し応用できているか。 ・平面の展開図から正しい立体へ制作できているか。 ・完成した形を予想して効果的な着彩できているか。 ・デザインカッターなどの道具の使い方を理解し、細密な表現ができているか。			○	12	
	日本美術史・水墨画。白描画【知識及び技能】 ・日本の伝統美術を意識して製作する。	・日本の絵巻から興味を示した部分を模写し日本美術史を实践鑑賞する。 ・和紙、墨、筆、短冊 ・端末を使用し平安末期から登場した様々な絵巻を鑑賞する。				○	・鑑賞した絵巻などの日本の伝統美術を意識して制作することができているか。 ・材料の特性を理解し墨ならではの表現技法を作品に生かすことができているか。			○	6	

令和6年度 年間授業計画

教科名	外国語	科目名	英語コミュニケーションI	単位数	3
対象学年・組	1-1, 1-2, 1-3, 1-4				
使用教科書	MY WAY English Communication I (三省堂)				
使用教材	Database 3300 単語帳&書き込み式定着ノートA・B・C (桐原書店), Metro ① Student Book & Workbook (Oxford University Press), Active Listening 2 (第一学習社), マーフィーのケンブリッジ英文法 (Cambridge University Press)				
教科の目標	様々な学習活動を通して、英語を使ったコミュニケーションの能力を養う。				
【知識及び技能】	外国語の特徴やきまりを理解し外国語の音声や語彙・表現、文法の知識を深める。				
【思考力、判断力、表現力等】	外国語で情報や考えを伝えたり、自分の思いを表現する力、また相手のそれを理解する力を養う。				
【主体的に学習に取り組む態度】	外国語を通じて、言語やその背景にある文化を尊重する態度を養う。				

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きへの知識・理解を深め、それを4技能による言語活動において活用し、適切に運用する技術を身につける。	コミュニケーションを行う目的や場面・状況に応じて、話し手や書き手の意図を的確に理解し、これらを活用して自らも英語で適切に表現できる力を養う。	英語という言語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手の文化的背景を考慮しながら、主体的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話	発	書					
1 学 期	A 単元: Starter, 自己紹介 【知識及び技能】 中学までに学習した文法(主語、be動詞、一般動詞、目的語、形容詞、副詞、前置詞、冠詞)を用いて、適切な文を作ったり、発話することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 中学までに学習した文法を用いて、自分のことを話して伝え合うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に自分のことを話して伝えたりしようとしている。また、相手の話に耳を傾ける姿勢を示す。	・教員について、またほかの生徒について、英語を使って知り合う ・教科書、プリント ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	1
	B 単元: Lesson 1 【知識及び技能】 現在形・過去形、進行形、SV0 (0=that節) について、理解し活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 世界各地のことわざについて理解し、説明出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 世界各地のことわざの共通点や違いを認識し、ことわざのつながりについて考えることができる。	・現在形・過去形、進行形、SV0 (0=that節) ・教科書、副教材	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	13
	定期考査										1	
	C 単元: Lesson 2 【知識及び技能】 助動詞、受け身、助動詞のついた受け身について、理解し活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 写真や芸術作品について、紹介することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 動物と人間の関係性や自然環境について考え、より良い人としての在り方について意見をもつ。	・助動詞、受け身、助動詞のついた受け身 ・教科書、副教材 ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	13
	D 単元: Lesson 3 【知識及び技能】 動名詞、to不定詞の各用法について、理解し活用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の行事や特別な食・物等について、不定詞を用いて英語で説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 食という身近な題材から、様々な創意工夫がなし得ることを理解する。	・動名詞、to不定詞の各用法 ・教科書、副教材 ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	12
2 学 期	定期考査										1	
	A 単元: Lesson 4 【知識及び技能】 完了形の様々な時制表現について、理解し活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自らの経験について、完了形を用いて表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 文学作品を読み、登場人物に共感したり、未知の世界に触れることで、教養や人間性を高める。	・完了形の様々な時制表現 ・教科書、副教材 ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	12
	B 単元: Lesson 5 【知識及び技能】 関係代名詞、形式主語を用いた表現を理解し活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 物事について、数値やデータに基づいて客観的に説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の様々な言語を取り巻く状況について知り、言語がもたらす政治的・社会的影響力について考えることができる。	・関係代名詞、形式主語を用いた表現 ・教科書、副教材 ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	12
	定期考査										1	
	C 単元: Lesson 6 【知識及び技能】 分詞の異なる形態、用法について学び活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 場所や物について、紹介することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 街のデザインについて、多様な視点で特徴を捉え、より良くするにはどうしたら良いか考えることができる。	・分詞の異なる形態、用法 ・教科書、副教材 ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	12
3 学 期	D 単元: Lesson 7 【知識及び技能】 関係副詞、比較の表現を理解し活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 人や物事を比較し表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 國民のおかれている状況に思いをはせ、共生していくうえで大事なことや必要なことについて考えることができる。	・関係副詞、比較の表現 ・教科書、副教材 ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	12
	定期考査										1	
	I 単元: Lesson 8 【知識及び技能】 仮定法について、理解し活用することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 非現実的な状況や仮定された事柄について、文脈に応じて理解し、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ロボットを始めとする新しい技術のもつ可能性について、考えることができる。	・仮定法 ・教科書、副教材 ・一人一台端末の活用	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力・判断力・表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	13
学年末考査										1		

令和6年度 年間授業計画

教科名	外国語	科目名	論理・表現 I	単位数	2
対象学年・組	1学年1組～4組				
使用教科書	MY WAY Logic and Expression I				
使用教材	Active Listening 2, マーフィのケンブリッジ英文法				

【知識及び技能】	外国語の文法的知識を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	学習した語彙・文法を使用して情報や考えなどを表現し伝え合う力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	英語学習を通じて、他言語やその背景にある文化を理解し、尊重しようとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の文法的知識を身に付ける。	学習した語彙・文法を使用して情報や考えなどを表現し伝え合う力を養う。	英語学習を通じて、他言語やその背景にある文化を理解し、尊重しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			聞	読	話 発 言	書					
1 学 期	Lesson 1 【知識及び技能】 be動詞・一般動詞について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞・一般動詞を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 be動詞・一般動詞を適切に使用して自己やテーマについて表現する。	現在形 (be動詞・一般動詞)	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力、判断力、表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	6
	Lesson 2 【知識及び技能】 be動詞・一般動詞・現在進行形・過去進行形について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 be動詞・一般動詞・現在進行形・過去進行形を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 be動詞・一般動詞・現在進行形・過去進行形を適切に使用して自己やテーマについて表現する。	現在形 (be動詞・一般動詞) 現在進行形・過去進行形	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力、判断力、表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	5
	定期考査							○	○		1
	Lesson 3 【知識及び技能】 未来表現について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 未来表現を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 未来表現を適切に使用して自己やテーマについて表現する。	未来表現 基本時制のまとめ	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力、判断力、表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	6
	Lesson 4 【知識及び技能】 現在完了形①②・現在完了進行形について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現在完了形①②・現在完了進行形を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 現在完了形①②・現在完了進行形を適切に使用して自己やテーマについて表現する。	現在完了形①② 現在完了進行形	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力、判断力、表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	7
定期考査							○	○		1	
2 学 期	Lesson 5 【知識及び技能】 助動詞・受動態について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞・受動態を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 助動詞・受動態を適切に使用して自己やテーマについて表現する。	助動詞 受動態	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力、判断力、表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	6
	Lesson 6 【知識及び技能】 不定詞①②について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞①②を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 不定詞①②を適切に使用して自己やテーマについて表現する。	不定詞①②	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力、判断力、表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	7
	定期考査							○	○		1
	Lesson 7 【知識及び技能】 分詞の後置修飾・分詞構文について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 分詞の後置修飾・分詞構文を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 分詞の後置修飾・分詞構文を適切に使用して自己やテーマについて表現する。	動名詞 分詞の後置修飾・分詞構文	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力、判断力、表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	7
	Lesson 8 【知識及び技能】 比較①②について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 比較①②の後置修飾・分詞構文を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 比較①②を適切に使用して自己やテーマについて表現する。	比較①②	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力、判断力、表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	7
定期考査							○	○		1	
3 学 期	Lesson 7 【知識及び技能】 関係代名詞①②について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 関係代名詞①②の後置修飾・分詞構文を正しく使用してテーマに沿って書いたり話したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 関係代名詞①②を適切に使用して自己やテーマについて表現する。	関係代名詞①②	○	○	○	○	【知識及び技能】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【思考力、判断力、表現力】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 指導目標の到達度に対して総合的に評価する。	○	○	○	14
	学年末考査							○	○		1

令和6年度 年間授業計画

教科名	人間と社会	科目名	人間と社会	単位数	1
対象学年・組	1学年 1組、2組、3組、4組				
使用教科書	「人間と社会」 東京都教育委員会				
使用教材					

教科の目標

【知識及び技能】	予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】	自己と社会との関りから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明する力を養う。
【主体的に学習に取り組む態度】	演習や体験活動に主体的・協動的に取り組み、自己の生き方を充実させようとする態度と、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、解決に向けて必要な知識及び技能を身につけさせる。	社会的現実にも照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会との関りから課題を見だし、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	演習や体験活動に主体的・共同的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、互いの良さを生かしなが、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期 中 間	A 単元 【知識及び技能】 自分の意見や行動・判断基準等を理解している。 必要な情報を調べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見や考えを表現するとともに、必要な情報が何かを探ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の価値観や判断基準を知ろうとしている。	・指導事項 はじめに、序章 第1章 人間関係を築く ・ワークシートの利用 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 必要な情報を収集・整理し、自分と異なる他社の意見や行動を認め理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自分と異なる考えから、改めて自分の考えを見つめ直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れ、新たな価値観・判断基準を構築しようとしている。	○	○	○	3
	B 単元 【知識及び技能】 自分の意見や行動・判断基準等を理解している。 必要な情報を調べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見や考えを表現するとともに、必要な情報が何かを探ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の価値観や判断基準を知ろうとしている。	・指導事項 第14章 自然と人間の関わり ・ワークシートの利用 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 必要な情報を収集・整理し、自分と異なる他社の意見や行動を認め理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自分と異なる考えから、改めて自分の考えを見つめ直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れ、新たな価値観・判断基準を構築しようとしている。	○	○	○	5
	C 単元 【知識及び技能】 自分の意見や行動・判断基準等を理解している。 必要な情報を調べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見や考えを表現するとともに、必要な情報が何かを探ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の価値観や判断基準を知ろうとしている。	・指導事項 第8章 チームを動かす力 ・ワークシートの利用 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 必要な情報を収集・整理し、自分と異なる他社の意見や行動を認め理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自分と異なる考えから、改めて自分の考えを見つめ直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れ、新たな価値観・判断基準を構築しようとしている。	○	○	○	3
	D 単元 【知識及び技能】 自分の意見や行動・判断基準等を理解している。 必要な情報を調べることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の意見や考えを表現するとともに、必要な情報が何かを探ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の価値観や判断基準を知ろうとしている。	・指導事項 第2章 学ぶことの意義 ・ワークシートの利用 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 必要な情報を収集・整理し、自分と異なる他社の意見や行動を認め理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自分と異なる考えから、改めて自分の考えを見つめ直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れ、新たな価値観・判断基準を構築しようとしている。	○	○	○	5
2 学 期 中 間	E 単元 【知識及び技能】 他者の意見や行動・判断基準等を理解している。 集めた情報を的確に整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 異なる考えや価値観への理解を深め、他者と相互に意見を交換することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れようとしている。	・指導事項 第2章 学ぶことの意義 ・ワークシートの利用 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 必要な情報を収集・整理し、自分と異なる他社の意見や行動を認め理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自分と異なる考えから、改めて自分の考えを見つめ直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れ、新たな価値観・判断基準を構築しようとしている。	○	○	○	4
	F 単元 【知識及び技能】 他者の意見や行動・判断基準等を理解している。 集めた情報を的確に整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 異なる考えや価値観への理解を深め、他者と相互に意見を交換することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れようとしている。	・指導事項 第12章 支え合う社会、 体験学習 ・ワークシートの利用 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 必要な情報を収集・整理し、自分と異なる他社の意見や行動を認め理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自分と異なる考えから、改めて自分の考えを見つめ直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れ、新たな価値観・判断基準を構築しようとしている。	○	○	○	4
2 学 期 期 末	G 単元 【知識及び技能】 他者の意見や行動・判断基準等を理解している。 集めた情報を的確に整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 異なる考えや価値観への理解を深め、他者と相互に意見を交換することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れようとしている。	・指導事項 第18章 国際平和を築く、 体験学習 ・ワークシートの利用 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 必要な情報を収集・整理し、自分と異なる他社の意見や行動を認め理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自分と異なる考えから、改めて自分の考えを見つめ直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れ、新たな価値観・判断基準を構築しようとしている。	○	○	○	3
	H 単元 【知識及び技能】 他者の意見や行動・判断基準等を理解している。 集めた情報を的確に整理することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 異なる考えや価値観への理解を深め、他者と相互に意見を交換することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れようとしている。	・指導事項 第18章 国際平和を築く、 体験学習 ・ワークシートの利用 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 必要な情報を収集・整理し、自分と異なる他社の意見や行動を認め理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自分と異なる考えから、改めて自分の考えを見つめ直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れ、新たな価値観・判断基準を構築しようとしている。	○	○	○	3
3 学 期	I 単元 【知識及び技能】 自分と社会との関りについて理解している。 収集した情報を活用するとともに、自分と社会との関りを踏まえて、新しい課題を生み出すことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分と社会との関りや、多面的・多角的な視点を踏まえ、問に対する答えを導くとともに、新しい課題を設定することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 社会の一員として、主体的・協動的に行動しようとして、学び続けようとしている。	・指導事項 最終章、おわりに ・ワークシートの利用 ・一人1台端末の活用 等	【知識及び技能】 必要な情報を収集・整理し、自分と異なる他社の意見や行動を認め理解する。 【思考力・判断力・表現力】 自分と異なる考えから、改めて自分の考えを見つめ直すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 多様な価値観や判断基準を受け入れ、新たな価値観・判断基準を構築しようとしている。	○	○	○	5